

# EndNote オンラインセミナー配布資料 (同期機能編)



\*EndNoteは Clarivate の登録商標です。

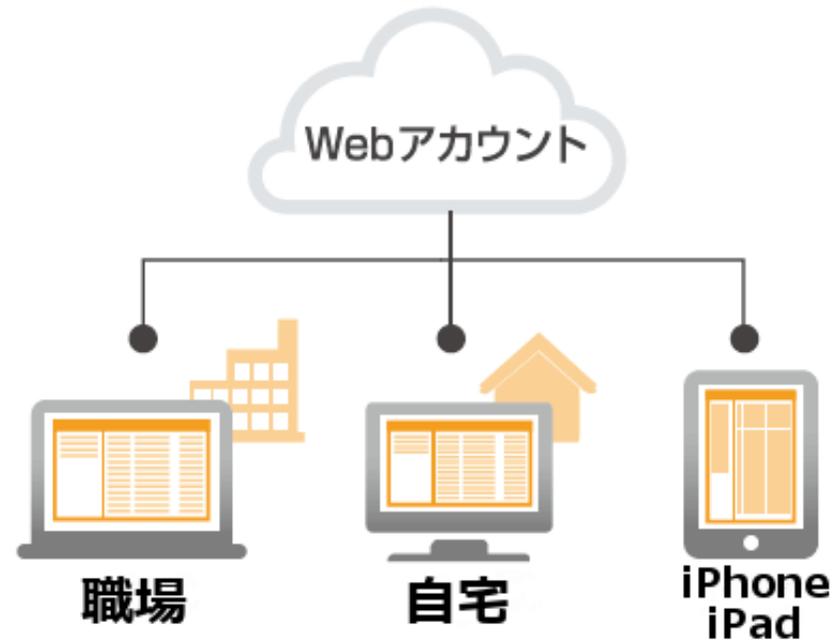
Copyright(C) 2024 USACO Corporation. All Right Reserved.  
本資料の無断転載・複写を禁じます。

# 内容

---

- EndNote 同期機能の概要・基礎知識
- 同期用ウェブアカウントの設定
- 同期の実行
- 同期状況の確認
- 別の PC で同期を実行
- 自動同期について
- 同期エラーの例
- まとめ
- お問い合わせについて

# EndNote 同期機能概要



- EndNote のライブラリデータは PC 内に保存されるため、別の PC に保存されているライブラリをそのまま開くことができない。  
※ EndNote はオンラインストレージに正式対応していない。
- 同期用の EndNote ウェブアカウントを作成して同期することでライブラリ内のレコード情報をウェブアカウントと送受信できるようになる。

# 同期機能の基礎知識 (1)

- 同期用ウェブアカウントの登録は原則 1 ライセンスにつき **1 回のみ可**
  - ※ PC ごとの登録ではありません
  - ※ アップグレードした場合は登録を更新するために、再度登録が必要
- 同期用ウェブアカウントには登録期限やプレミアム期限（添付容量無制限で利用できる期限）が設けられている。詳細は下記 URL 参照  
<https://www.usaco.co.jp/faq/detail.html?pdid1=27>
- 原則、同期の対象とできるライブラリは 1 つのみ  
同期の対象とするライブラリを切り替えることも推奨されない
- 同期はライブラリ単位で実行される  
同期対象のライブラリ内に「同期したくないデータ」を設定することはできない  
⇒ 同期したくないデータは別のライブラリを作成して管理する
- 同期設定したライブラリデータは原則 PC 内で移動させない
- 同期は原則ライブラリを開いたとき、EndNote の使用を終了する際に実行しておく

(参考)

他の EndNote ユーザーとデータを共有する「ライブラリ共有機能」は「同期機能」で同期しているすべてのデータが共有対象となる。共有するデータを制限することはできない。

# 同期機能の基礎知識 (2)

## ■初回の同期と、2回目以降の同期で実行される処理の違いについて

### • 初回の同期

同期を指示したデスクトップ版のライブラリと、ウェブ版のライブラリに保存されているすべてのデータを統合する。

※ 重複の除去はしない

※ データが削除されることはない

### • 2回目以降の同期

前回の同期からの差分を同期する

※ デスクトップ版・ウェブ版のどちらかを優先するというわけではない  
各 EndNote で加えられた操作（最新情報）を同期する

※ レコードやグループなどを「削除した」という操作も同期される

(参考)

- 初回の同期か否かは「ライブラリごと」に記憶される。
- 同期するライブラリを切り替えても、回数はリセットされない。
- 新規作成したばかりのライブラリは必ず「初回の同期」と認識される。

# 同期機能の基礎知識 (3)

- 同期をしていたライブラリデータのコピーやバックアップデータ (.enlx) を解凍した場合の同期回数の認識について
- EndNote のメニューから [File] → [Save a Copy] で複製した場合、または [File] → [Compressed Library] で作成したバックアップデータ (.enlx) を解凍した場合

## 【EndNote 20 以上】

これまで同期していたライブラリとは「別のライブラリ」と認識され、「初回の同期」が実行される **(データ重複が多発！要注意！！)**

## 【EndNote X9 以下】

これまで同期していたライブラリと「同じライブラリ」と認識され、「2回目以降の同期」が実行される **(データ削除に要注意！)**

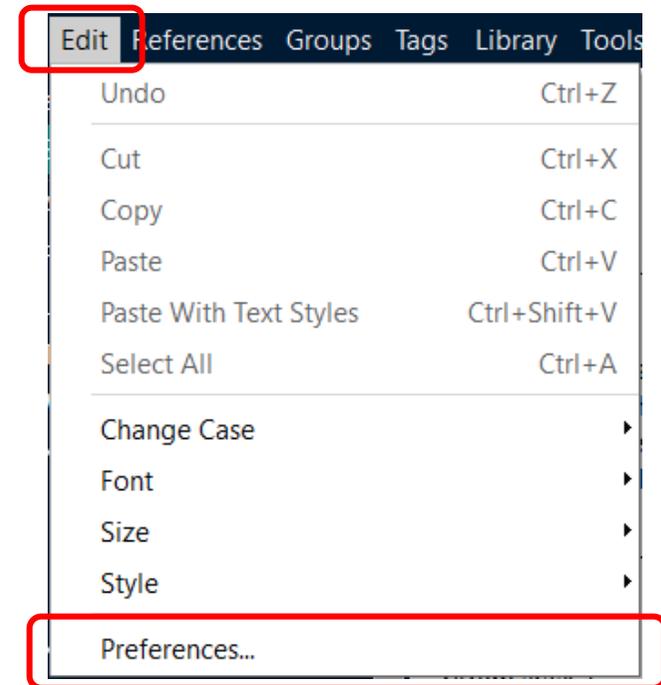
- OS の機能でライブラリデータをコピー&ペーストした場合  
いずれのバージョンでも、これまでのライブラリと「同じライブラリ」と認識され、「2回目以降の同期」が実行される

⇒ PC 間で同期を実行しているライブラリデータを移行させる場合はこちらの操作で対応することが推奨される。

# 同期の設定画面の開き方

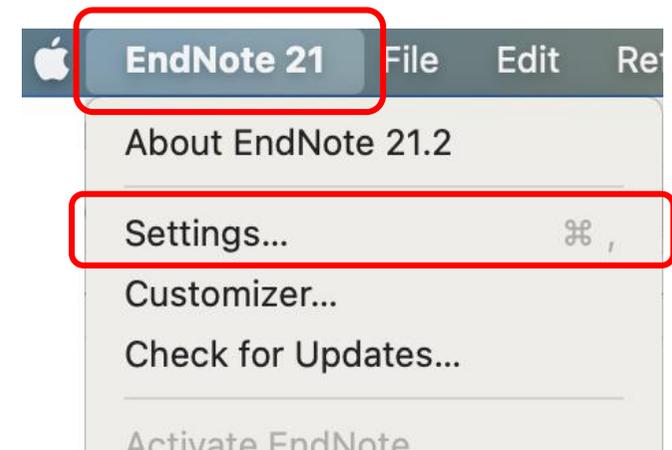
## 【Windows】

- EndNote メニューバーの [Edit] をクリックし、[Preferences] を選択
- 出現した画面左から [Sync] を選択



## 【Macintosh】

- EndNote メニューバーの [EndNote (ver.)] をクリックし、[Preferences] または [Settings] を選択
- 出現した画面左から [Sync] を選択



# 同期の設定画面

アカウント登録画面を表示

ウェブアカウント情報入力欄

同期対象のライブラリデータの保存場所パス表示欄（編集不可）

EndNote Preferences

Synchronize your data with your EndNote account. [Learn more](#)

Upgrade or create your three-year EndNote account to get the latest features and enable

Enable Sync

EndNote Account Credentials

E-mail Address:

Password:

Sync this EndNote Library

Sync Automatically

EndNote Defaults Revert Panel OK キャンセル 適用(A)

# アカウント登録画面

EndNote Login

Using an EndNote account makes it easy to get the latest features and keep your library in sync.  
[Learn more](#)

Create a new EndNote Account

If you don't have an EndNote account or aren't sure, then click Sign Up.

EndNote Account Credentials

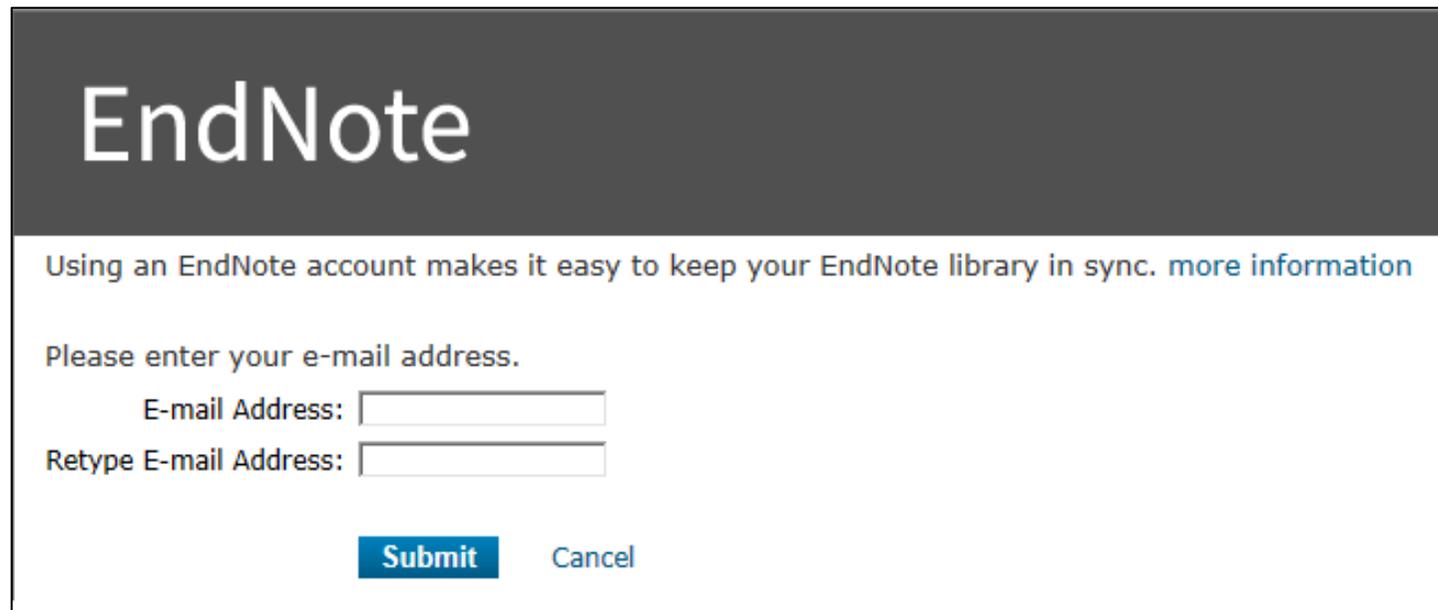
E-mail Address:

Password:

[Forgot Password](#)

- [Sign Up] をクリックして同期用ウェブアカウントを登録  
(1台目の PC にて、初回のみ)

# メールアドレス設定画面



EndNote

Using an EndNote account makes it easy to keep your EndNote library in sync. [more information](#)

Please enter your e-mail address.

E-mail Address:

Retype E-mail Address:

- メールアドレスを **2回**入力

※ 入力したメールアドレスにて下記のアカウトを持っている場合、アカウント連携される。認証のために次の画面で当該アカウントのパスワード入力が求められる

- 旧バージョンの同期用ウェブアカウント
- 無料の EndNote basic アカウト
- Web of Science のアカウント
- Publons のアカウント
- その他、開発元（Clarivate 社）が提供しているウェブサービスのアカウント（例外：EndNote Click）

# 個人情報設定画面

## EndNote

**User Registration:** To create your EndNote account, enter your information below. Fields with an asterisk are required.

E-mail Address:

\* First Name:

\* Last Name:

\* Password:

\* Retype Password:

**【パスワード設定の条件】**

- ・8文字以上で必ず下記をそれぞれ含む
- 数字 (0 - 9)
- アルファベット (a - z)
- 記号 (!@#\$%^\*()~`{|}[]|¥&\_)

EndNote® End User

THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT SHALL NOT APPLY IF YOU HAVE OBTAINED ACCESS TO THIS PRODUCT PURSUANT TO AN INSTITUTIONAL SITE LICENSE. UNDER SUCH CIRCUMSTANCES, YOUR USE OF THIS PRODUCT SHALL BE GOVERNED SOLELY BY THE TERMS AND CONDITIONS OF SUCH LICENSE. If you would like to understand more about all of the rights that you or your employer have to use the

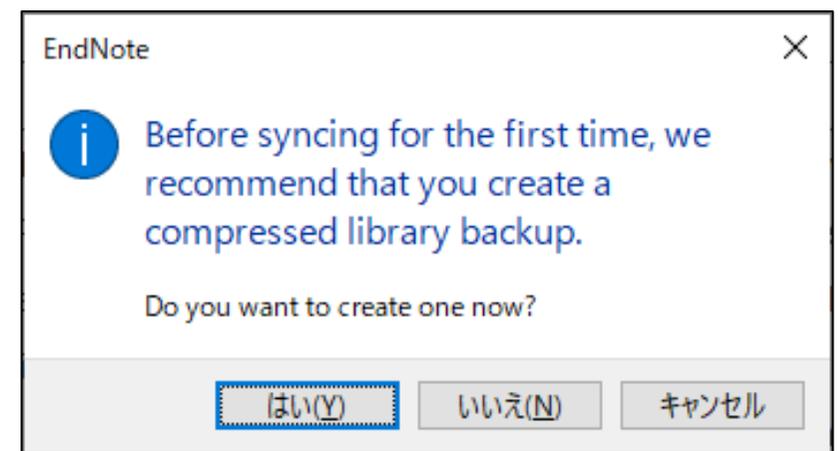
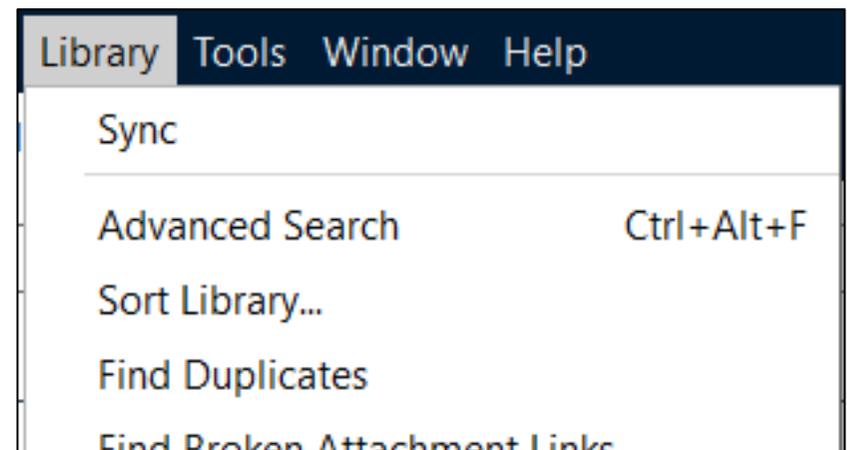
© 2023 Clarivate Analytics

- 必要事項を入力し、利用規約を確認して [I Agree] をクリック  
⇒ 次の画面で “EndNote registration is complete.” と表示されたらアカウント作成完了。 [Done] で画面を閉じる

# 同期の実行

※ 同期の実行前にライブラリのバックアップを作成しておくことを強く推奨  
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-03.html>

- メニューバーの [Library] → [Sync] を選択
- 【初回の同期の場合】  
同期の前にバックアップの作成を勧められる
- 【二回目以降の同期の場合】  
確認画面なしに同期が実行される



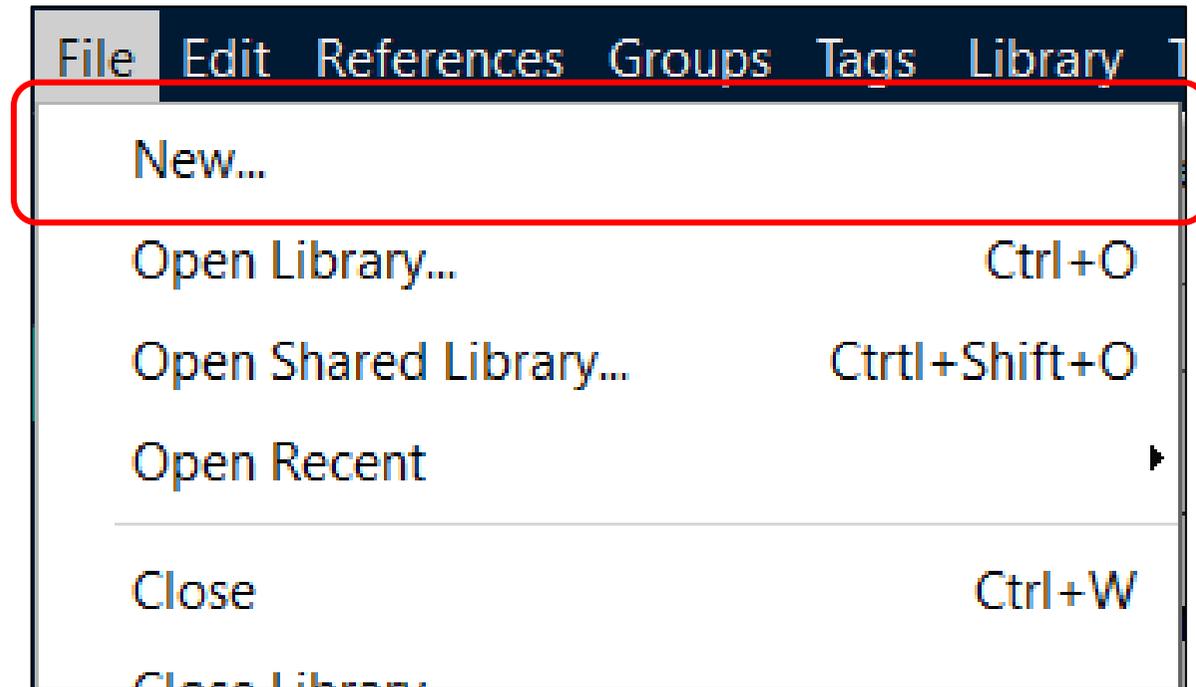
# 同期の状況を確認

- ライブラリ画面上的の [Sync Status] をクリックして表示
- [Sync Details] 同期状況の詳細を表示
- [Local Library] デスクトップ版 EndNote の同期ライブラリの情報を表示
- [Online Library] ウェブ版 EndNote のライブラリ情報を表示

- Sync Status でエラーの内容やローカル・オンラインの各ライブラリの状態が確認できる  
⇒ 同期がうまくいかない件について問い合わせをする際は、こちらの画面全体の内容をコピー&ペーストしてお送りください。

# 別の PC で同期：新規ライブラリを使用

- EndNote メニューバーの [File] → [New] から新規ライブラリを作成
- [Library] → [Sync] で同期を実行



※ PC 固有の保存領域に、固有の名前を付けて保存

- オンラインストレージや USB、共有フォルダのご利用はご遠慮ください。
- ライブラリの名前は 1台目の PC の同期ライブラリの名前と異なっても問題ありません。

# (参考) 既存のライブラリで同期すると

2 台目以降の PC でこれまで使用していたライブラリがあり、そのデータも同期させたい、という場合：

## 【他の PC の同期ライブラリと関係ないライブラリの場合】

同期を実行すると「初回の同期」となり、他 PC で同期しているライブラリと全データが合算される。

※念のため同期前にバックアップを作成することを強く推奨

合算後、重複レコードやグループ・タグを整理してあらためて同期を実行

⇒ 「整理した」という操作がウェブアカウントに同期される

⇒ 同期済みの他の PC の同期ライブラリで同期すると、整理された状態が同期される

## 【他の PC の同期ライブラリからコピー移行したライブラリの場合】

コピーを実行した時期が同期の前後を問わず、本資料の

「同期機能の基礎知識 (3)」 (P. 6) の状況になるので注意が必要。

無理にそのライブラリで同期せず、新規ライブラリで同期を実行し、不足しているデータを補完して対応することを推奨。

# 自動同期の設定画面

EndNote Preferences

Change Case  
Display Fields  
Display Font  
Duplicates  
Find Full Text  
Folder Locations  
Formatting  
Libraries  
PDF Handling  
Read / Unread  
Reference Types  
Sorting  
Spell Check  
Sync  
Temporary Citations  
Term Lists

Synchronize your data with your EndNote account. [Learn more](#)

Upgrade or create your three-year EndNote account to get the latest features and enable Sync.

Enable Sync

EndNote Account Credentials

E-mail Address:

Password:

Sync this EndNote Library

Sync Automatically

EndNote Defaults Revert Panel

自動同期のオン / オフ

自動同期実行のタイミング：

- 同期対象のライブラリを開いたとき
- EndNote を起動中、15 分おき
- 同期を実行していないタイミングで EndNote を終了しようとしたとき、同期実行の確認画面を表示

原則オンで OK

ただし、同期エラーが発生した際は  
オフにすること推奨

# 同期エラー例 (1)

- 同期エラーが発生した場合はまず Sync Status を確認  
Error Code や Error Message にエラーの原因が記載されている場合が多い

- **“The username/password specified is not valid.”**

同期の設定画面に入力されている同期先ウェブアカウントの情報が、現在のログイン情報と異なっている場合に表示される。アカウント情報を再入力してあらためて同期を実行してみてください。

- ※ アカウント情報を変更した覚えがない場合：

EndNote の開発元が提供している他のウェブサービスでアカウント登録・登録内容の変更を行いませんでしたか。特に Publons や Web of Science の事例が多い。

- **“An error occurred while trying to upload the attachment(s). Please try again”**

こちらは同期ライブラリ上の [Trash] 内のデータが影響している場合があります。同期をしているデスクトップ版とウェブ版の両ライブラリ上の [Trash] を空にして、デスクトップ版 EndNote を再起動してからあらためて同期を実行してみてください。

# 同期エラー例 (2)

- 同期を実行してもすぐに処理が終わるがデータの同期が実行されていない。  
Sync Status の Error Code や Error Message は None と表示されている、  
または Sync Status の表示自体がない（代わりに Sync Configuration が表示）

同期対象のライブラリデータの保存場所が変更されていませんか。  
EndNote は同期ライブラリの保存場所を記憶しています。ライブラリ名に変更を加えずに保存場所が変更されると、その変更を認識できず同期ができなくなってしまう。

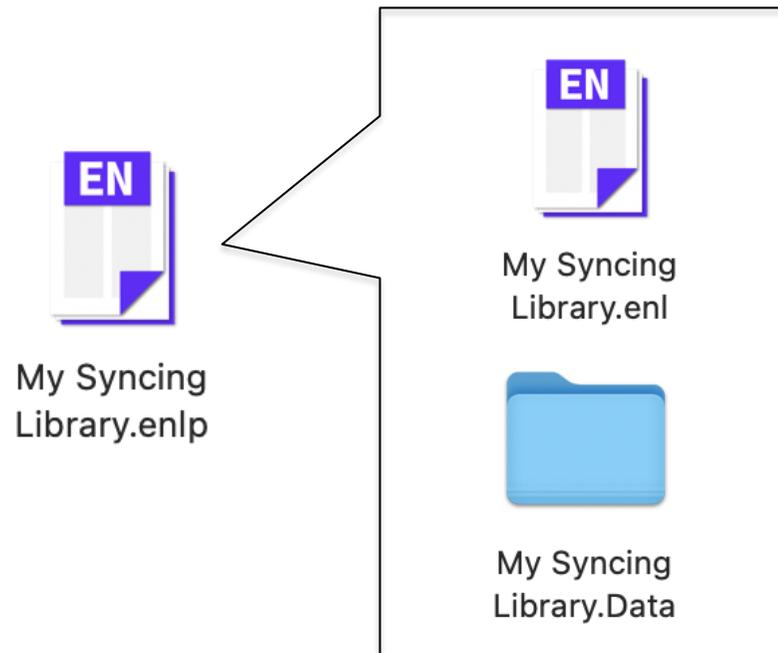
ライブラリ名に変更を加えて同期を実行すると確認画面が表示されます。確認画面でも同期実行を指示すると、同期ライブラリの保存場所変更を反映し、同期を実行します。

詳細は下記ページの【確認事項 4】をご参照ください。  
<https://www.usaco.co.jp/faq/detail.html?pdid1=17>

※ その他の確認事項も上記ページからご確認ください。

# Mac の「パッケージ保存」利用の注意点

macOS ではライブラリデータを保存する際に「パッケージ保存 (Save as Package)」を指示することが可能。指示すると、ライブラリを構成する [ライブラリ名].enl ファイルと [ライブラリ名].Data フォルダ の二つのデータをパッケージにした [ライブラリ名].enlp が作成される。



- .enlp の役割は「フォルダ」である。中に通常のライブラリデータを内包している。よって、ライブラリ名を変更する場合は .enlp ではなく、中の .enl ファイルと .Data フォルダを変更する必要がある。
- ※ .enlp の上で右クリックし、[パッケージの内容を表示] を選択すると中身を表示可能 (右クリックがない場合はキーボードの [control] を押下しながらクリック)



# 同期機能 まとめ

---

- アカウント登録は 1ライセンスにつき 1回だけ
- 添付容量無制限で同期できる期限が設けられている
- 同期対象に設定できるライブラリは 1つのみ
- 「初回の同期」と「2回目以降の同期」の違いに注意
- 同期対象のライブラリデータは動かさない

# EndNote の操作に関するお問い合わせ

ユサコ株式会社 EndNote サポート担当  
営業時間：土日祝年末年始を除く 9:00～17:30

- ・メールでのお問い合わせ  
[フォーム](#)より必要事項をご入力の上、お問い合わせをお願いいたします。
- ・画面共有サポートのご予約  
[こちらのページ](#)をご一読の上、予約フォームよりご予約ください。

※弊社より EndNote をご購入いただいた方が対象です。  
事前に[弊社ユーザー登録](#)を行ってください。